

「猪苗代町の田に水が入り・・・」

今日の猪苗代は、うす曇りの天気です。磐梯のフィールドの遅咲きの桜と八重桜は、先日まで美しく咲いていましたが、急に散り始め、葉桜に近い形になってきました。

所長室から猪苗代湖を臨むと、国旗と所旗が西風を受けてゆったりとなびいています。

ここ猪苗代の田んぼにも水が入り、代掻きや苗植えの姿がみられるようになりました。暦の上では、初夏の訪れを示す八十八夜も過ぎました。田んぼに入りますと少しひんやりとした風が吹き、春先の温かさからすがすがしさを強く感じられるようになりました。

2年前ですと、ゴールデンウィークから多くの観光客が猪苗代を訪れ、にぎやかになりますが、今年も感染力の強い新型コロナウイルスの変異株が全国的に猛威を振るい、不要不急の外出の自粛や県をまたぐ移動の制限など相変わらず忍耐と自粛の生活が続いています。そのせいか、町の賑わいも感じられずひっそりとしています。

ここ磐梯もトップシーズンを迎え、多くの方々のご利用をお待ちしていましたが、キャンセルが相次ぎ、寂しい気持ちでいっぱいです。通常なら児童生徒の歓声が響き渡り、賑やかな磐梯であるはずなのに…

先日所員総出で、キャンプ場のテントサイトの整備を行いました。頑丈な思いテントを張るのは数人がかりです。トラロープや指す股などを使いながら設営します。全部で25張設営しました。

当交流の家のキャンプサイトは、ワーケーションにぴったりですよ。もし、興味のある方やご希望の方はご連絡ください。下見だけでも対応させていただきます。

こんな時だからこそ、所員・全スタッフ知恵を出し合い、連携・連帯・連動して乗り越えてまいりたいと考えています。皆さん、応援してくださいね。

（文責 所長 福士寛樹）